2008.10.13.

「せんだい・みやぎオータムセミナー２００８年」
～ 140 人のアツい声が響く　ココロのスイッチが入る瞬間！～

レジメ：「夢に向かって～ 福祉職の立場から～ 」

阿部幸泰
（　HP：　http://www.h4.dion.ne.jp/~dekunobo/　）

略歴
　大卒後から、指導員として重症心身障害児（者）と係わり合う仕事に 35 年間従事。
現在
　言語聴覚士、保育士、養成校　講師（非常勤）
　宮城県重症心身障害児（者）を守る会　参与
　在宅緩和ケア支援センター“虹”　理事
　障害児放課後ケア・NPO「つばめっこ」　理事

難病、障害のある子ども、高齢者を支える仕事（職業）
　医療職（医師、看護師、保健師、薬剤師、理学療法士、言語聴覚士、等々）
　教育職（教師、幼稚園の先生、等々）
　福祉職（保育士、指導員、生活支援員、介護福祉士、社会福祉士、ヘルパー、等々）
　行政職（区役所の各担当課、保健福祉事務所、等々）

国際（車いす）シンボルマーク（障害者が利用できる建築物、施設、等々）
　仙台三越支点が日本で一番最初（1971･11.）に車いすマークが貼られた。
　障害児・者が街に出てきにくいのは、当人の障害の問題だけではなく、自分達（社会）の責任でもあることに気づいた西多賀ワークキャンパスでボランティアで出入りしていた大学生たちの活動（生活圏拡張運動）のお陰。
　　（　→　バリアフリー法につながっている。
　　→　本当は、一人一人の心のバイアフリーがまだまだ望ましい。
　　例：障害者用駐車場の問題～空いているからと駐める車がある～）

仕事（職業）
　生きるとは、自分のためだけでなく人のために使う時間のこと。
　　←　（日野原重明医師：１００才近くになっても、患者さんを診ている）
　→　人のためになり、人に喜ばれる（認めてもらう）と嬉しいもの。
　　自分のやりたいこと（仕事）が、人のためになるなら、最も嬉しいこと。

　職業選択とは、「人のためにどう時間を使うかのための方法（手段）を、
　　迷いながらも探して見つけること。」とも云える。
　「今日は過去の積み重ね。未来（夢）は今日の積み重ね。」
　　→　自分の夢を追い続けるために、今を大事に過ごすことに心懸けよう。

　生きている（生きていく）喜び
　　知らないことを知る喜び　←　勉強すること、人からアドバイスをもらうこと、等々。
　　人と係わり合う喜び　　←　友だち、家族等と仲良くすること、等々。

　「悩みの後に進歩あり。」
　　人生には色んなことで戸惑い、悩むことがあるが、その後に進歩（成長）するであろう自分を信じる勇気をもって歩もう。